科目ナンバリング	U-LAS03 10002 SB48						
授業科目名<英訳>	外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1			担当者所属職名・氏名	文学研究科　准教授　安平　弦司		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	水4	配当学年	2回生以上	対象学生	文系向

[授業の概要・目的]

この授業では、以下の書籍の一部を精読する。

Derek Heater, A Brief History of Citizenship (Edinburgh: Edinburgh University Press, 2004) 160 pp., paperback ISBN: 9780748619993.

本書は、主に西洋世界（ヨーロッパと北米大陸）を舞台として、古代から中世・近世を経て近代・現代に至るまでの市民権citizenshipの歴史を論じている。著者のデレック・ヒーターは邦訳書『市民権とは何か』（岩波書店、2002年）でも知られる、市民権研究の大家である。日本語においてcitizenshipは「市民権」と訳されることが多いが、本書はそれを一連の権利と義務の総体としてのみならず、社会的・政治的アイデンティティの一形態としても捉えている。本書はこうした意味での市民権citizenshipを巡る思想・理論と社会的・政治的な制度・実践の歴史的展開を跡づけている。市民権と移民・難民・外国人にまつわる諸問題は現代世界の喫緊の課題でもあるが、本書を読むことでそうした現代的課題について歴史的に思考することも可能になるであろう。

本授業の主たる目的は、同書の精読を通じて英語の研究文献の読解能力を向上させ、市民権の歴史について理解を深めることである。

本授業では毎週予習を必須とする。なお、後期にも同書の後半部分を扱う外国文献研究の授業を開講している。

[到達目標]

・英語の研究文献の読解力を向上させる。
・市民権の歴史的展開を理解する。

[授業計画と内容]

第1回：オリエンテーション
使用するテキストの概要や、授業の進め方、予習や発表の仕方、評価方法等について説明する。

第2～13回：テキストの精読
受講生全員が予習をしていることを前提に、テキストの精読を冒頭から順に進める。その場で指名された受講生は数行を目安に訳読をすること。前期の間に序章から第2章まで読み通すことを目指す。

テキストの目次
・Introduction (pp. 1-5)
・1. Greece (pp. 6-29)
・2. Rome (pp. 30-41)
・3. Medieval and Early Modern Periods (pp. 42-64)
・4. Age of Revolutions (pp. 65-87)
・5. Modern and Contemporary Themes I (pp. 88-112)

外国文献研究（文・英）A-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

・6. Modern and Contemporary Themes II (pp. 113-139)
・7. Conclusion (pp. 140-145)

第14回：授業中試験、および前期に扱った箇所のまとめ

第15回：フィードバック

[履修要件]

本授業は、人文学の英語文献の基礎的な読解力を有する学生の履修を前提とするため、2回生以上を対象とする。なお、後期にも同じテキストの後半部分を扱う外国文献研究の授業を開講しているため、通年での履修を推奨する。

[成績評価の方法・観点]

平常点（60%：授業中の訳読、授業中の発言内容等）と試験（40%）によって評価する。

[教科書]

Derek Heater 『A Brief History of Citizenship』（Edinburgh University Press, 2004）ISBN: 9780748619993
コピーを配布するため、テキストを購入する必要はない。

[参考書等]

（参考書）
デレック・ヒーター 『市民権とは何か』（岩波書店, 2002年）

[授業外学修（予習・復習）等]

事前に指定された範囲の予習を必ず済ませた上で出席すること。予習に際しては、辞書を引くことはもちろん、関連する内容について適宜調べることが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

・履修定員を４５名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

１．文学部の４回生（所属系は問わない。）
２．文学部歴史基礎文化学系および基礎現代文化学系の２・３回生
３．上記系以外の文学部２・３回生
４．文学部以外の学生

[主要授業科目（学部・学科名）]